

自然再生のための住民参加型生物保全水利施設管理システムの開発

生物が生息する水路
管理が大変な護岸・法面
崩壊した護岸



生物が生息できる環境の保全・再生

生物が生息しない水路
管理が楽な護岸・法面



住民参加と多面的利用の推進

保全生物の生息条件解明



保全生物のための技術開発

住民ができる保全生物の調査法の開発(ライトトラップ、人工産卵床等)
水利施設の維持管理労力低減技術の開発(在来植物による法面被覆等)



ライトトラップ



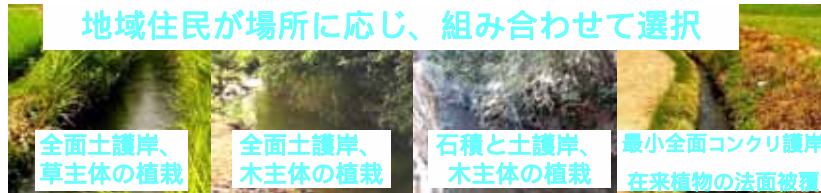
人工産卵床

情報提供

水利施設の生物保全低コスト改修技術の開発

生物保全低コスト改修工法の水理設計法の開発
教地域の実態に即した低コスト改修技術の開発
生態系ネットワーク機能修復技術の開発

地域住民が場所に応じ、組み合わせて選択



全面土護岸、
草主体の植栽

全面土護岸、
木主体の植栽

石積と土護岸、
木主体の植栽

最小全面コンクリ護岸
在来植物の法面被覆

技術支援

現状把握・問題点抽出

情報提供

住民参加型手法開発

意識形成に向けた環境啓発支援技法

(パターンニング、影響評価)

教育的機能を活かした啓発手法

(ロールプレイング、自然観察会等)

社会的手法による計画策定手法

(Cross-Examination Debate等)

農村と都市の交流による管理手法

(Project Cycle Management等)

維持管理と地域協定



TN法による
集落座談会

小学生を対象
の自然観察会

都市住民による
植栽活動

開発技術の検証
マニュアル作成

円滑な事業推進、生物の保全・再生、水利施設の永続的管理実現